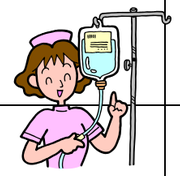
慢性心不全（急性増悪期）で入院をする＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様へ

慢性心不全に対し治療を行います

ゴール目標：呼吸困難、胸部症状が改善し、医師の許可があれば、退院できます

福井赤十字病院　循環器内科　　心 10

	入院 1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	8 日目	9 日目	10 日目～12 日目			13 日目～退院	
月日	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
検査 治療	・採血、胸部写真、心電図、心エコーの検査は状態に応じて行います ・状態に応じて酸素吸入をします ・状態に応じて 24 時間点滴をします ※症状に応じて終了します													
処置	・心電図モニターを装着します（症状に応じて終了します） ・必要時尿の管を入れます ・必要時血糖値を測ります ・必要時弾性ストッキングを履きます							・トイレに行けるようになったら体重測定をします（状態に応じて変わります）						
安静度	・ベッド上安静です（症状に応じてトイレに行けます） ・安静度は心臓リハビリテーションで確認してお伝えします													
食事	・1 日（　　）ml までの飲水制限があります（状態に応じて変更します） ・医師の許可で治療食を開始します →													
排泄	・ベッド上で行います （症状に応じてトイレに行けます）							・尿の管が入っている場合、医師の指示で抜きます ・症状に応じて、トイレに行けます						
清潔	・体を拭きます ・陰部洗浄を行います （症状に応じて、医師の許可があればシャワーに入れます）													
観察	・1 日 3 回行います													
リハビリ		・心臓リハビリテーションを行います												
教育指導	・症状が落ち着いてきたら、ハートノートに沿って 日常生活の注意点について看護師が説明します							・薬剤師が薬の説明をします ・管理栄養士が食事の説明をします						
	・ハートノートをお渡しします →					（6 日目） ・ハートノート P4-8 について 説明します	（7 日目） ・ハートノート P10-11 P14-16	（8 日目） ・ハートノート P19-22	（9 日目） ・ハートノート P23-26	（10 日目） ・ハートノート P27-30	（11 日目） ・ハートノート P31-33	（12 日目） ・ハートノート P17-18 →		
						（　／　：　）	（　／　：　）	（　／　：　）	（　／　：　）	（　／　：　）	（　／　：　）	（　／　：　）		
その他	・入院診療計画書をお渡しします 署名の上お出しください													
説明者														









※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください

主治医（　　）　担当看護師　（　　）

入院費は、ひと月ごとの【自己負担限度額】＋【食事負担額】＋【その他（個室料、診断書料など】合計です。
自己負担限度額の確認ができない場合は、本人の負担割合（1 割～3 割）での請求となります。
請求に関する問い合わせ先：病棟担当事務

日常生活においての注意事項

1） 体重について

短期間での体重増加は心不全の悪化の兆候です。体重測定は決まった時間に毎日行うようにしましょう。

1 週間で 1.5～2.kg体重が増加し、むくみや息切れなどの症状が伴う時は心不全を疑って早めに受診してください。

2） 水分について

心不全では水分が体にたまりやすくなっています。水分の取り過ぎには注意が必要です。

水分量は心不全の程度によって変わります。医師に確認しましょう。

3） 塩分について

体に血液中の塩分の割合を一定に保とうとする働きがあるので、塩分を取りすぎるとそれを薄めようとして水分が取り込まれます。

体内の水分量が増加してしまい、心臓に負担がかかってしまいます。



☆塩分を控えるポイント☆

薄味に慣れる・・・塩味の薄い食事に慣れることが第一歩です。当院の心臓食は塩分 6g／日です。

漬け物・汁物の量に気をつけて・・・塩分の多い漬け物や汁物は食べる回数と量を減らしましょう。

効果的に塩味を・・・塩は食品の表面にさっとふりかけると少なくて塩分を感じることができます。

「かけて食べる」よりは「つけて食べる」・・・つけて食べたほうが塩分摂取量が少なくてすみます。

香辛料を上手に使いましょう・・・ゆず、大葉、ゴマなど香りのあるものを使用すると味に変化がつきます。

酒の肴に注意・・・酒の肴に合う料理は意外に塩分が多く含まれているので少量にしましょう。

練り製品・加工食品に気をつけて・・・かまぼこ、はんぺん、薩摩揚げ、ハム、ベーコンは塩分が多い食品です。

食べ過ぎないように・・・減塩醤油や減塩味噌も使う量が多ければ塩分も増えます。

4） 薬について

心不全には利尿薬などの薬物療法が基本です。体調が良くなったといって自己判断で薬の服用を中断してはいけません。

薬の中断によって症状が悪化する場合があります。医師の指示通り服用するようにしてください。

5） 感染防止について

風邪などの呼吸器感染症は時として心不全を悪化させることがあります。

寒い時の外出やインフルエンザの流行している時期に人込みに出ることを避けましょう。

また、マスク（洗って清潔なもの）を利用し、帰宅時には必ずうがいと手洗いをしましょう。

“風邪を引いたかな”と思ったら、早めに受診し早めに手当てをしましょう。





福井赤十字病院　1－6 病棟